

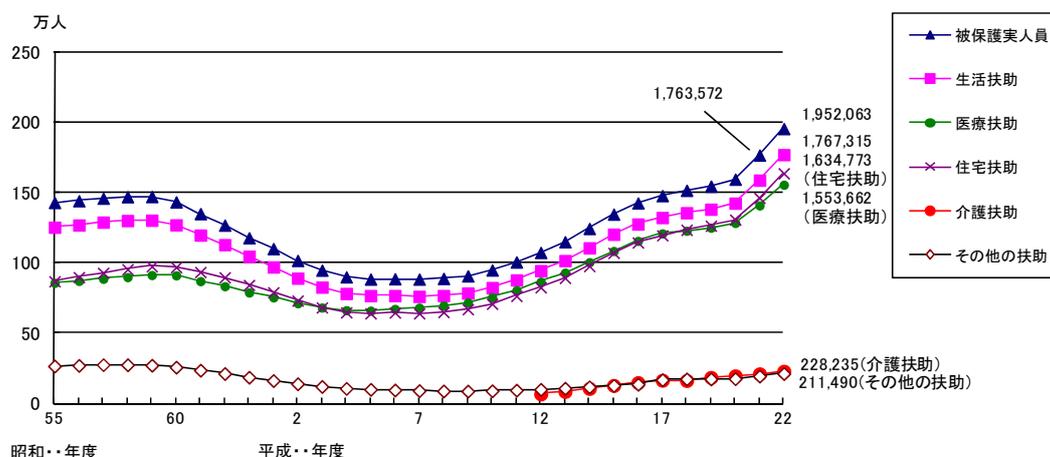
## (2) 被保護実人員及び保護率

平成22年度の1か月平均の「被保護実人員」は1,952,063人で、前年度と比べ188,491人（前年度比10.7%）増加している。

保護の種類別に扶助人員をみると、「生活扶助」が1,767,315人と最も多く、次いで「住宅扶助」が1,634,773人、「医療扶助」が1,553,662人となっている。（図2、表2）

また、保護率（人口千対）は15.2（‰）となっている（表2）。

図2 被保護実人員・保護の種類別扶助人員(1か月平均)



注:「その他の扶助」は、「教育扶助」「出産扶助」「生業扶助」「葬祭扶助」の合計である。

表2 被保護実人員・保護の種類別扶助人員及び保護率の年次推移(1か月平均)

	平成18年度		19年度		20年度		21年度		22年度		対前年度	
		構成割合(%)	増減数	増減率(%)								
被保護実人員	1 513 892	100.0	1 543 321	100.0	1 592 620	100.0	1 763 572	100.0	1 952 063	100.0	188 491	10.7
保護率(人口千対)(‰)	11.8		12.1		12.5		13.8		15.2			
生活扶助	1 354 242	89.5	1 379 945	89.4	1 422 217	89.3	1 586 013	89.9	1 767 315	90.5	181 302	11.4
医療扶助	1 226 233	81.0	1 248 145	80.9	1 281 838	80.5	1 406 456	79.8	1 553 662	79.6	147 206	10.5
住宅扶助	1 233 105	81.5	1 262 158	81.8	1 304 858	81.9	1 459 768	82.8	1 634 773	83.7	175 005	12.0
介護扶助	172 214	11.4	184 258	11.9	195 576	12.3	209 735	11.9	228 235	11.7	18 500	8.8
その他の扶助	172 994	11.4	173 398	11.2	174 801	11.0	192 987	10.9	211 490	10.8	18 503	9.6

注:1)「その他の扶助」は、「教育扶助」「出産扶助」「生業扶助」「葬祭扶助」の合計である。

2) 保護率の算出は、1か月平均の被保護実人員を総務省統計局発表「各年10月1日現在推計人口」で除した。

平成22年度は、「平成22年国勢調査人口等基本集計結果」の人口で除した。